

リハビリテーション講習会

MediArt

日本一**分かりやすい**リハビリ講習会を**目指して**います

ベテランの視点(入門編)

動作分析 6つの視点

ベテランはこのように**見ていた!**

この講義を簡単に言うと・・・

ベテランと言われる人が

実際に行っている

明日からの

臨床で使いやすい

動作分析の視点を

紹介をします。



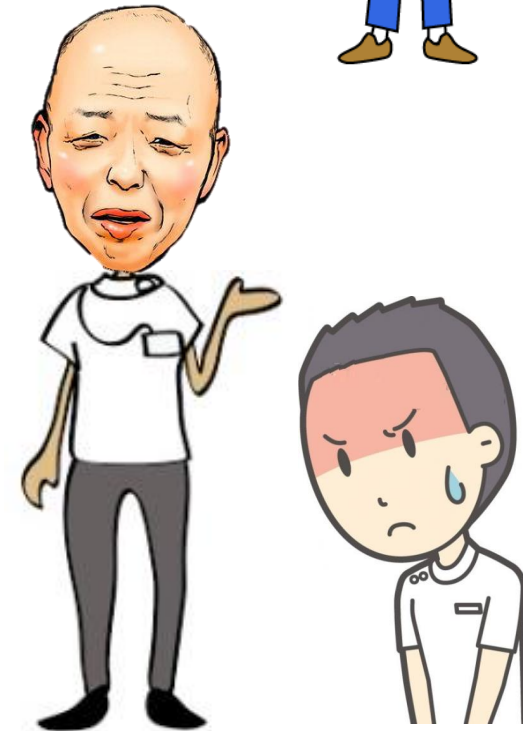
皆さん、**動作分析**は得意ですか？



動作分析って**難しい**ですよね…。

皆さんも、**養成校**や**実習先の指導者**から、

動作分析を**学ぶこと**がありましたよね？



学生時代を思い返して下さい

養成校や、実習先の指導者から、動作分析を学んだけれど……

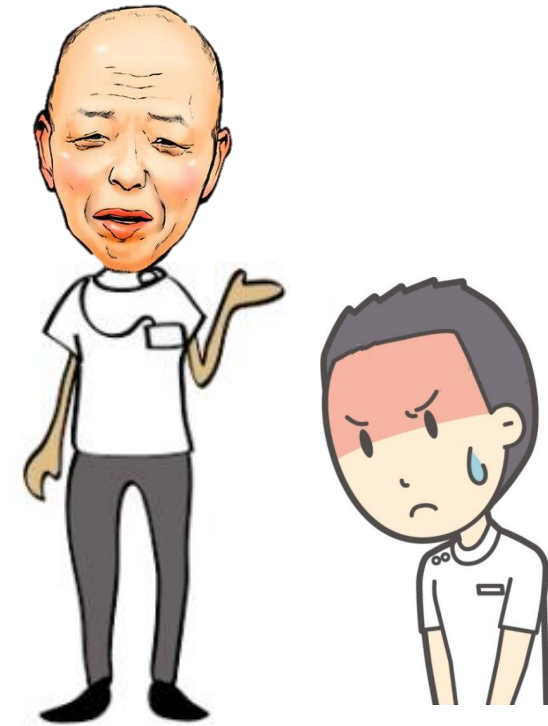
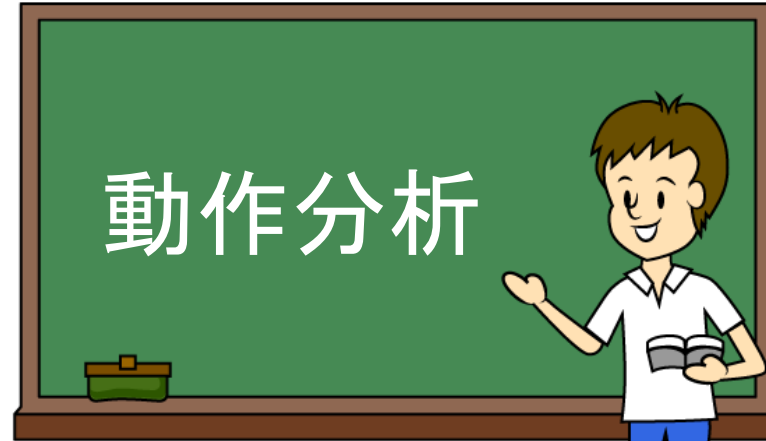
その動作分析は、

「治療に繋がらない動作分析」

で終わっている事が多い……。

例えば、

実習で多いレポートの為の動作分析の内容とか。



学生時代を思い返して下さい

そして、学生から**新人療法士**になり、**臨床現場**に出ると、

「治療に繋がる動作分析(評価)」の方法が**分からなくて**、

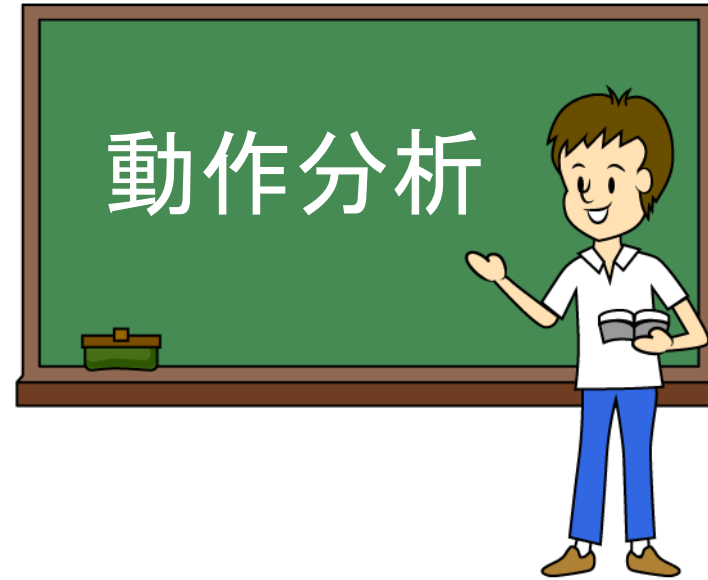
うまく**治療**が出来ず、**悩んでいる人が多い!**

私も、その一人でした。



学生時代を思い返して下さい

養成校や**実習先の指導者**から、**動作分析**を学んだのに……



何で、

「治療に繋がる動作分析（評価）」

が出来ないのか？

それには、**理由**があります！



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

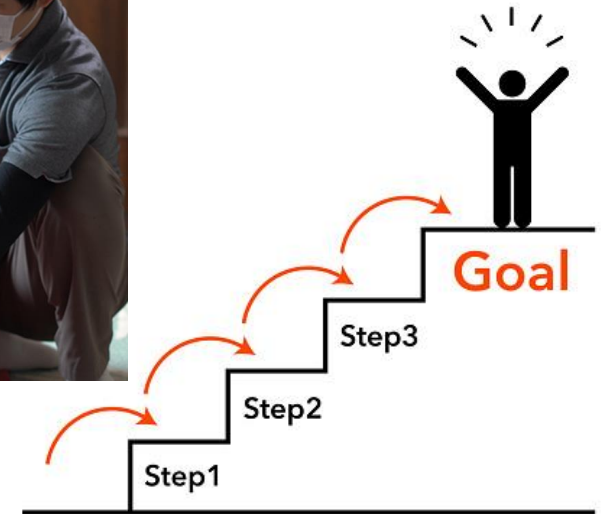
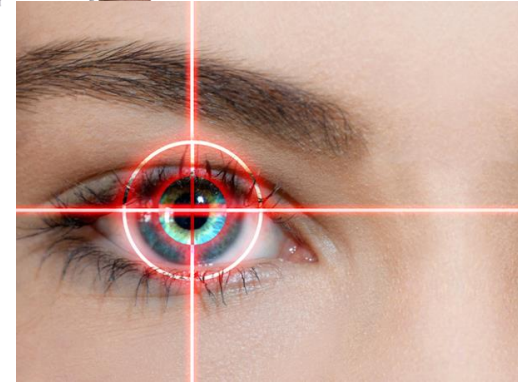
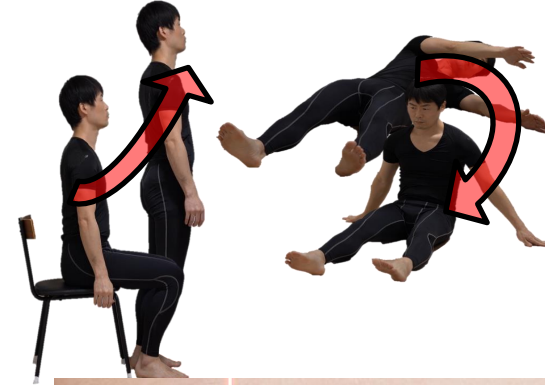
① 正常動作の知識が無いから。

② 記述に偏った、動作分析を学んできたから。

③ 動作分析をする知識（視点）が無いから。

④ ハンドリング技術が無いから。

⑤ 段階付けをする知識が無いから。



分からないから、無難に……

ROM訓練や、

ストレッチや、

マッサージや、

筋力訓練や、

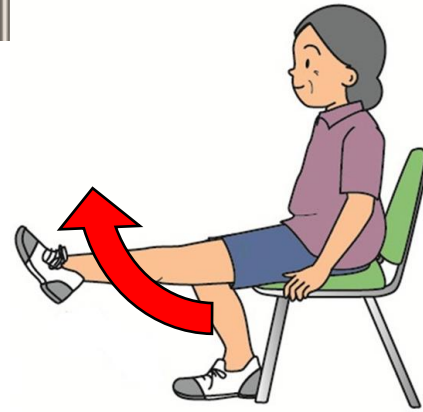
歩行訓練(お散歩リハビリ)

になる……。

OTなら病棟で、ADL訓練を直接行う等に終わってしまう……

いつもの臨床は、

そんな感じになっていませんか？ (°Д°)(。_。)



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

① **正常動作**の**知識が無い**から。

患者さんに、寝返りや立ち上がりなどの、**動作分析**を**する**時に、

どのような動作が出来るようになってほしいのか？

このような**基準**になる、**正常動作**の知識を分かっていないと、
どのように**治療**をして良いのか、**分からない！**

つまり、

基本動作が**どのようなものか？**という
正常動作を**知っている**ことが大切です！



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

でも、正常動作を基準にする考え方には注意点があります！

それは、

実際に治療をする相手は、障害のある患者さんなので、

正常動作を基準にはするけれど！

完璧に綺麗な正常動作をさせる事は難しい！ (°Д°)(。_。)

現時点の対象者の能力に合った、

正常動作に近い動作を、目安・目標として治療をする！

目安・目標として、

どの程度、正常動作に近い動作にするかは、対象者に合わせる！



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

② 記述に偏った、動作分析を学んできたから。

職場や学生時代を思い返して下さい！

よく、実習での学生の学習を見ていると、

レポートを作る為の

検査や評価（動作分析）の実習になりがち！



更に、コロナの影響で実習経験が無い人もいる。（ペーパー患者）

治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

昔の学生の実習では…

動作を見て、書く事（記述だけで）

実習が終わっていることが多い。

患者さんを見る時間よりも、

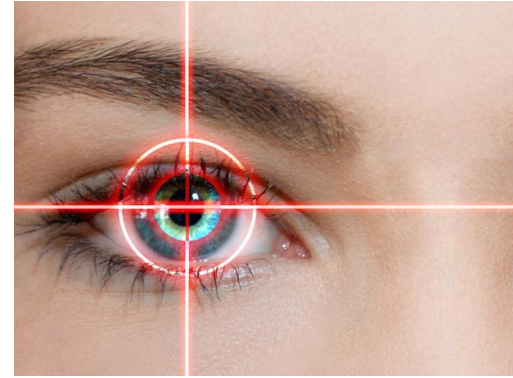
レポートなどを書く時間の方が長い…。

（今の実習はどうですか？）

そういう記述する動作分析の教育を、

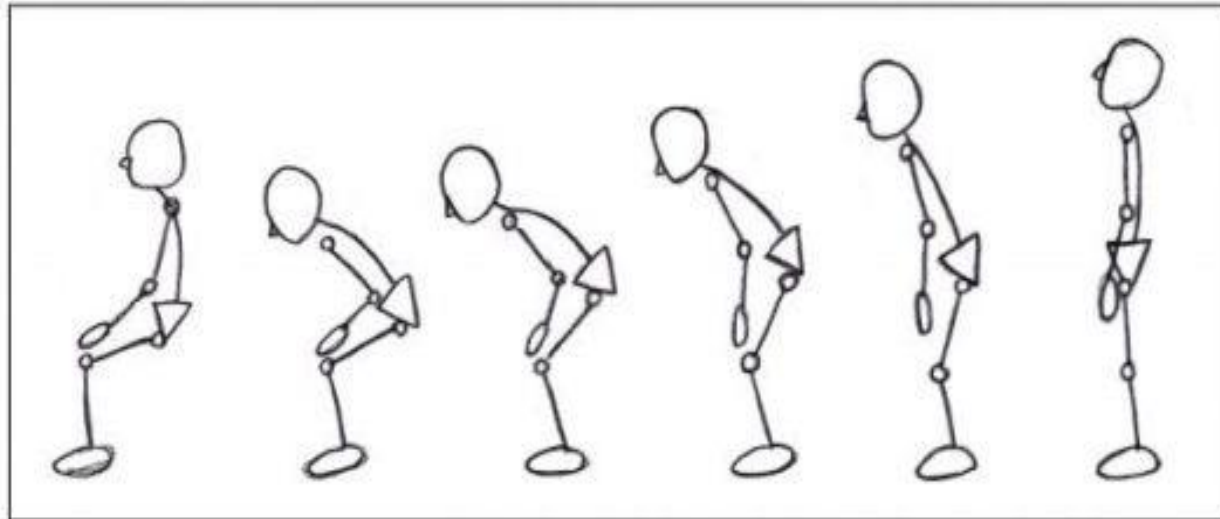
過去に皆が受けてきている。

こういう教育の問題が、原因としてある…。



ちなみに、皆さんは**動作分析**を どのように**教えられて**きましたか？

- **コマや相**に分けて見る？
- **棒人間**を書く？
- **評価用紙**を使う？
- **各関節の運動**を文字で書く？



動作分析

氏名: _____ (男・女) 年齢: _____ 歳 検査日: _____ / _____ / _____ 時刻: _____

臥位

① 臥位移動動作
[縦・横 / 背・側・腹]

② 寝返り
[背→側→腹・腹→側→背 / 右回旋・左回旋]

坐位

③ 起き上がり動作
[支持有・無
/ (臥) 背・側・腹 → (坐) 長・横・胡坐・正・割・椅子]

④ 坐位バランス動作
(保持時間; 耐久性, バランス能力)
[長・横・胡坐・正・割・椅子 etc ()]

⑤ 坐位移動 (いざ這い) 動作
[縦・横 / 支持有・無]

⑥ 坐位姿勢転換動作
[長・横・胡坐・正・割・椅子
→ 長・横・胡坐・正・割・椅子]

⑦ 坐位移乗動作 (トランスファー)
[床上・椅子・車イス・ベッド・Pトイレ etc ()
→ 床上・椅子・車イス・ベッド・Pトイレ etc ()]

四つ這い位

⑧ 四つ這い位バランス動作
(保持時間; 耐久性, バランス能力)
[四肢支持・三肢支持・二肢支持/方向 ()]

⑨ 四つ這い移動動作
[縦・横]

膝立ち位

⑩ 膝立ちバランス動作
(保持時間; 耐久性, バランス能力)
[方向 () / 支持有・無]

⑪ 膝立ち歩行動作 (縦・横)
[支持有・無]

立位

⑫ 立ち上がり動作
[長・横・胡坐・正・割・椅子 etc () → 立位
/ 支持有・無]

⑬ 立位バランス動作
(保持時間; 耐久性, バランス能力)
[支持有・無/方向 ()]

⑭ 立位歩行移動動作 (→歩行分析; 前後左右歩行)
[方向 () / 支持有・無 ()]

体幹が前傾して
股関節が屈曲し、

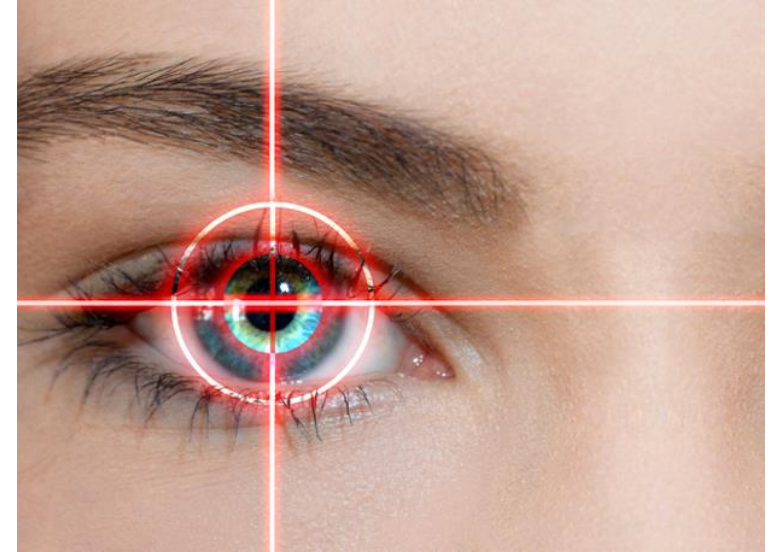
ちなみに、皆さんは**動作分析**を
どのように**教えられて**きましたか？

他に、

どのような**視点**があるのか？

皆さんが**臨床**で実際に、

動作分析をする時の**視点**は、
どのようなものがありますか？



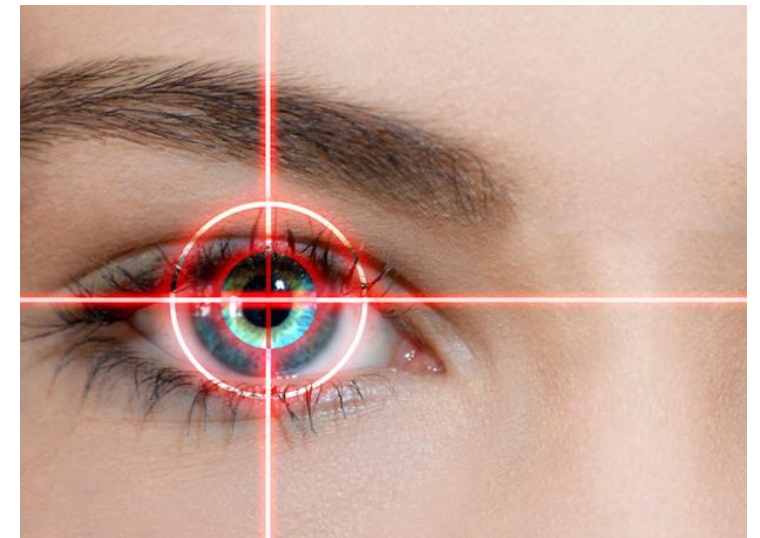
学生の頃は

動作分析を、

「動作を観察して、

それを記述する作業」と

考えがちですよね。(°Д°)(。_。)



でも……。

臨床場面で、

実際に、紙に書いてそんなことは……。

やってませんよね……。



(°Д°)(。_。)



でもでも！

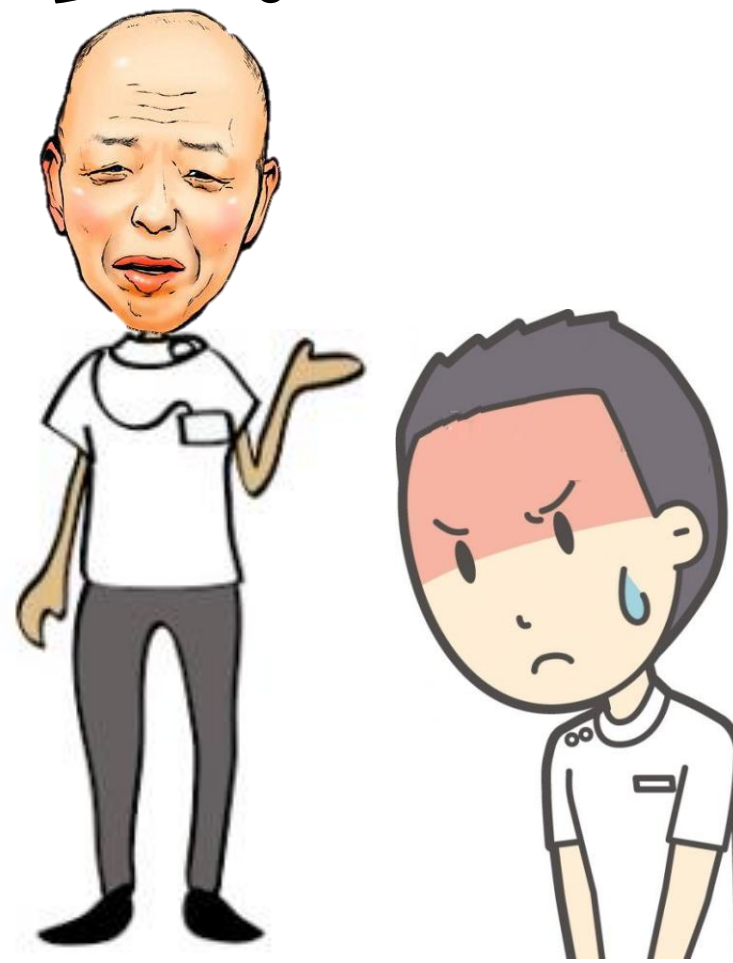
養成校や、実習先の指導者からは、
そのように教えられている事が多い。

動作を観察してよ、
それを紙に書くんだよ！
レポート明日までに書いてこいよ！

とかって言われたりする…。

そして、

間違った答えを提出すると…



とか、理不尽に
怒られたいしませんでしたか？

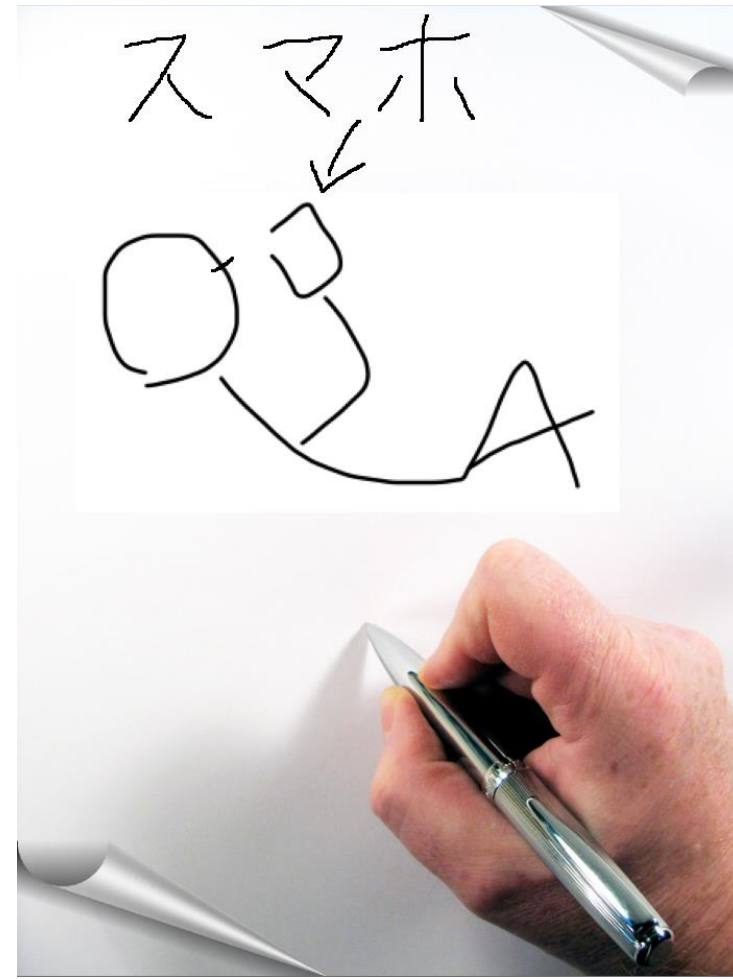


ち～が～う～だ～ろ～！

思い返してみてください！

実際に、**臨床指導者(バイザー)**が**臨床場面**で、

紙に書いて動作分析をしていたか？ **例えば...**

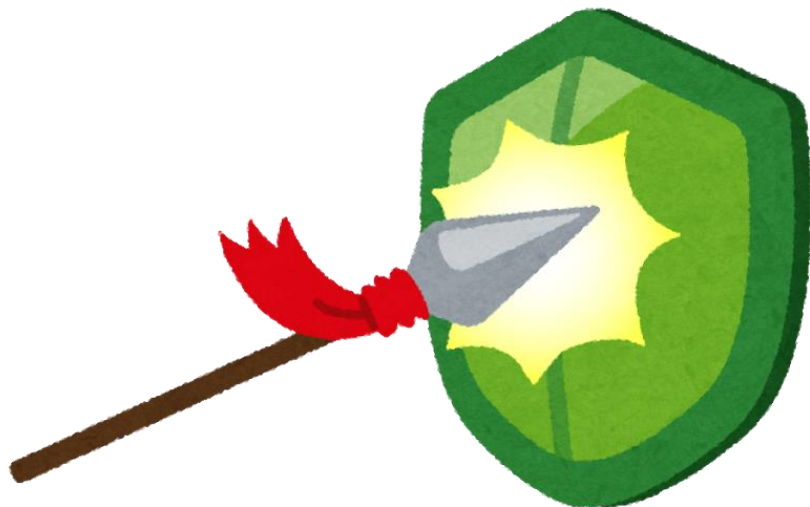


思い返してみて！

実際に、現場でやっていないことを、

指導している矛盾がある！

(全ての指導者ではないけれど…。)



じゃあ……。

どういう視点で、

動作分析を行っていけば良いのか？

(°Д°)(。_。)



そこで役に立つのが！

6つの視点！

臨床で動作分析をしていく時の

Point

「視点」

になる！

6つ視点があるから「6つの視点」

治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

③ 動作分析をする知識（視点）が無いから。

治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由として、

動作分析をする知識（視点）が無い（知らない）と、

何十回、何百回、繰り返して動作を見ても分からないです。

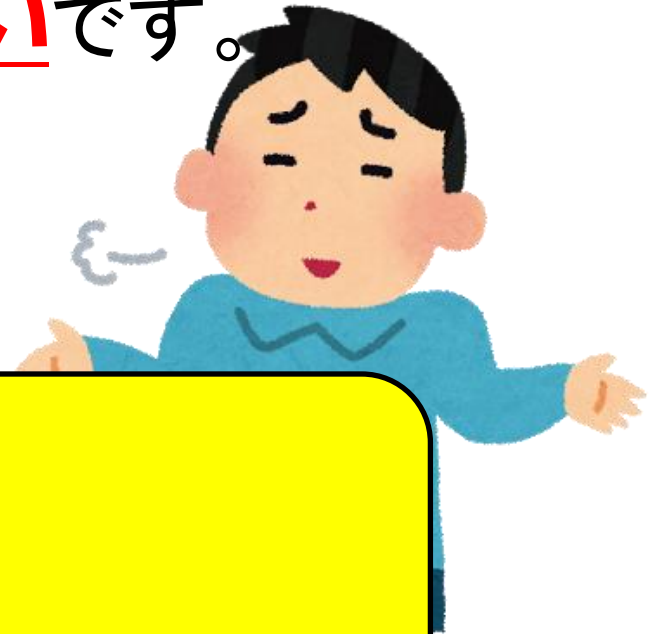
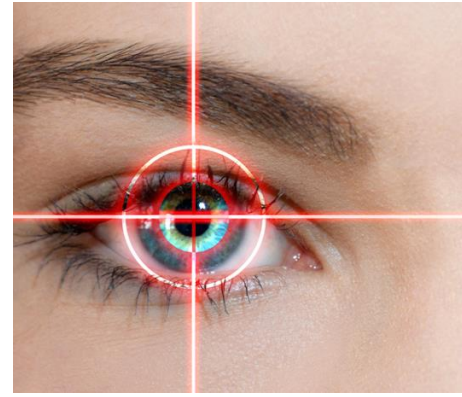
そこで役に立つのが、

6つの視点の知識（視点）です！

6つの視点の知識（視点）を学べば

学生や新人でも、

ベテランに近い動作分析が出来るようになります！



6つの視点は**ベテラン**と言われる人の**視点**

ベテランと言われる、

臨床が**何十年目**の療法士に**共通**することは、

臨床の**視点の鋭さ**ですよ？



どういう**視点(コツ)**で見ているのか？

実は、**共通点**があったんです！（∩∩）



それが『**6つの視点**』に関連するもの！

ちなみに・・・

いつ知りたい？



今でしょ!



★6つの視点★

①

②

③

④

⑤

⑥

具体的に
講義で
お伝えしますね！



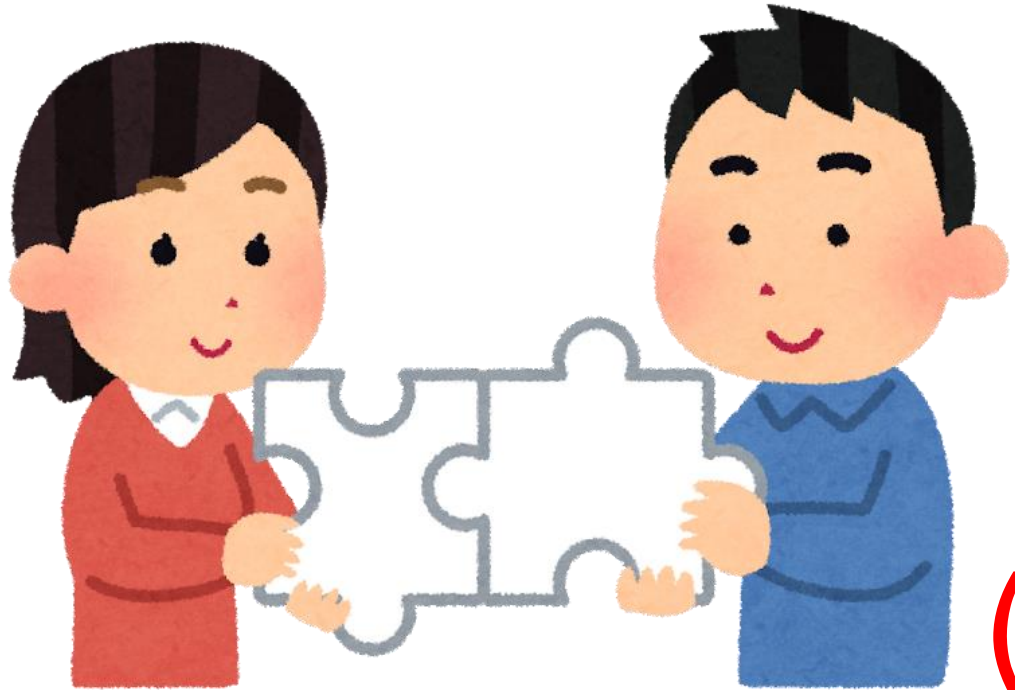
なんか難しそ〜！





**こんな気持ちで
聞いて下さい！**

この視点は
今まで自分がしてきた動作分析に



プラス
(組み合わせ)

して考える事ができるものです！

ここまでで言いたい事は・・・

学生時代に教わってきた

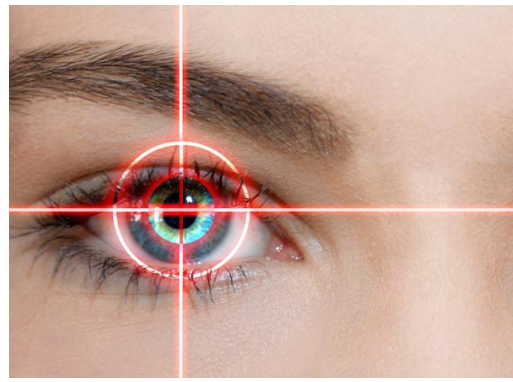
「動作を観察」して、それを記述して、
正常動作と比べても、

それらの違いが分かるだけ！

「なぜ、その動作が困難なのか？」といった、

動作障害の原因までは
分からない事が多い！

そういう事って、ありませんか？ (°Д°)(。_。)



Point



動作障害の**原因**は、

観察して、『**見ただけ**』では、**分からない事もある！**

なので、**評価**として、

見るだけではなく、

直接接触したり、

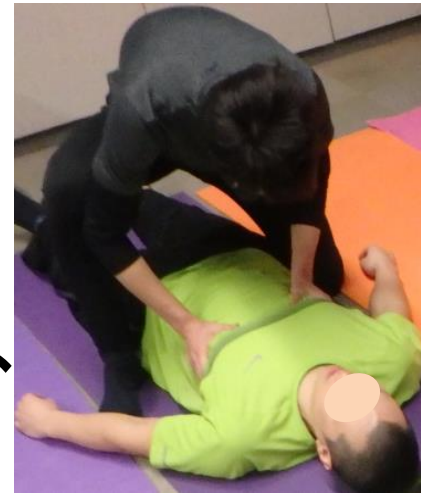
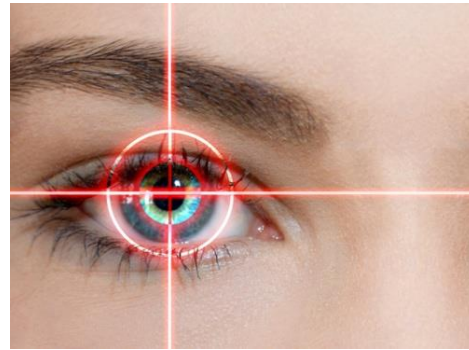
動きを**適切に誘導**(ハンドリング)したり、

逆に動きを**邪魔**したり、

患者さんが、どのように感じているのか**聞い**たり、(知覚・認知)

何でだろう？って評価を**組み合わせ**て進める事で、(臨床展開)

動作障害の原因が分かる！ってことです！(◡)(。_。)



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

④ ハンドリング技術が無いから。

治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由として、

①～③で紹介した知識だけではなく、

評価・治療をする技術（実技）が無いと、
臨床で患者さんに実践することが出来ません。



そのため！

このオンライン講習会は！

オンライン講義ですが！

明日の臨床で使えるように

実技を学べる工夫があります！

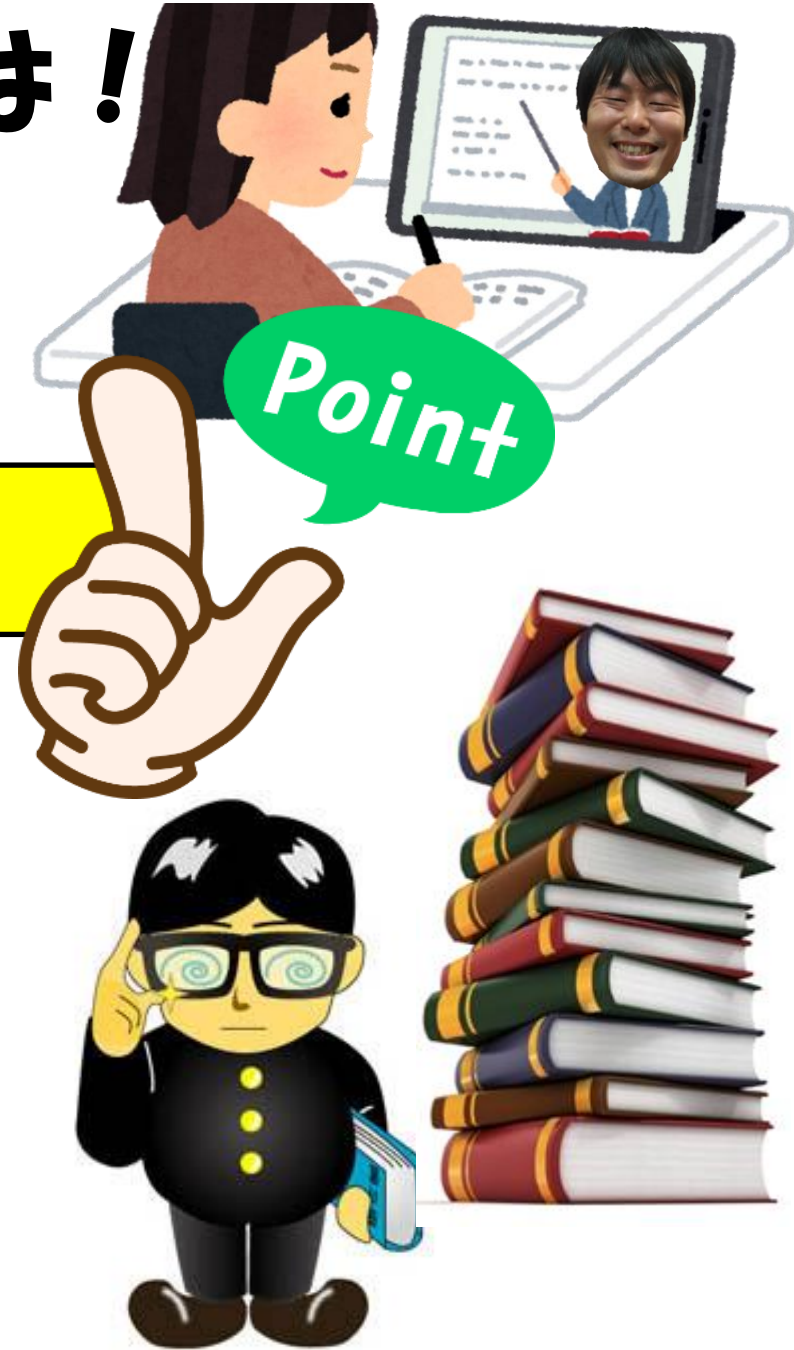
動画や文献(論文や本)だけでは

学べない(体験できない)のが

実技！

この講習会で学ぶ一番大切な内容！

自分の体を動かして体験して下さい。

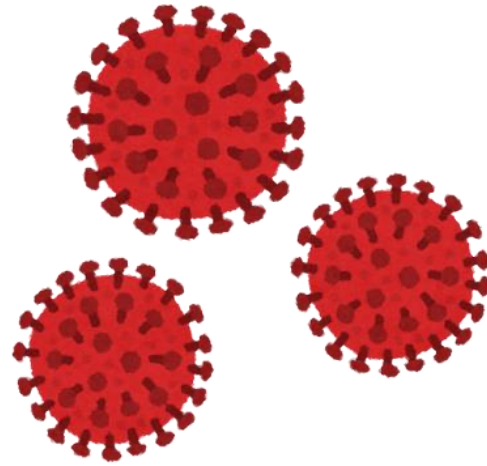




実技が大切な、
理由とは？

皆さん車の免許を持っていますか？

車の**免許**を取るために、
自動車学校で学びます。
コロナの時代なのに、



実車に乗る**実技教習**は**オンラインにならない！**

それと**同じで「実技」**は大切だと思って下さい！

しかし、**オンライン講義**では、**実技の感覚的な部分など、
どうしても伝えきれない内容(力加減など)**があります。



そのような実技の内容は、**対面実技講習会**でお伝えしています！

治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

⑤ 段階付けをする知識が無いから。

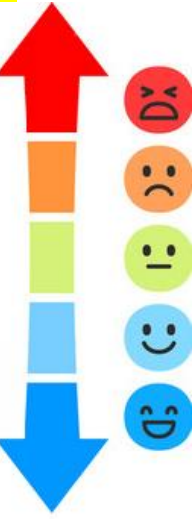
患者さんへの訓練（治療）の内容は、

簡単すぎず、難しすぎず、

丁度良い段階（レベル）のリハビリ内容を提供したいですね！

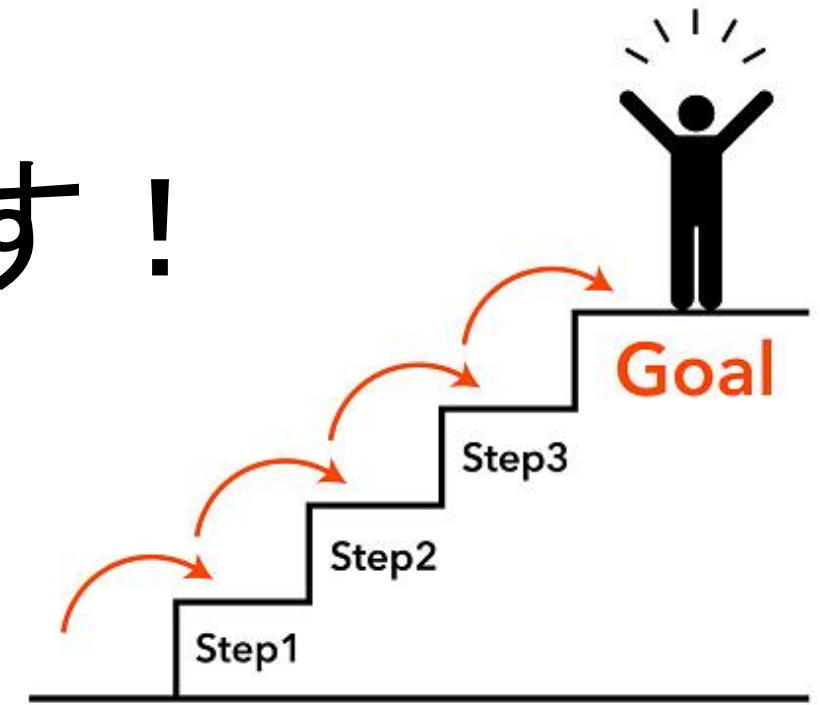
難しい

簡単



そこで、段階付けが大切です！

（段階付けの内容は講義で紹介します！）



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

段階付けをする考え方（知識）を知らないと、
先の見通しが立てられない。

今行っている訓練が出来るようになったら、
次に何をして良いか分からない。

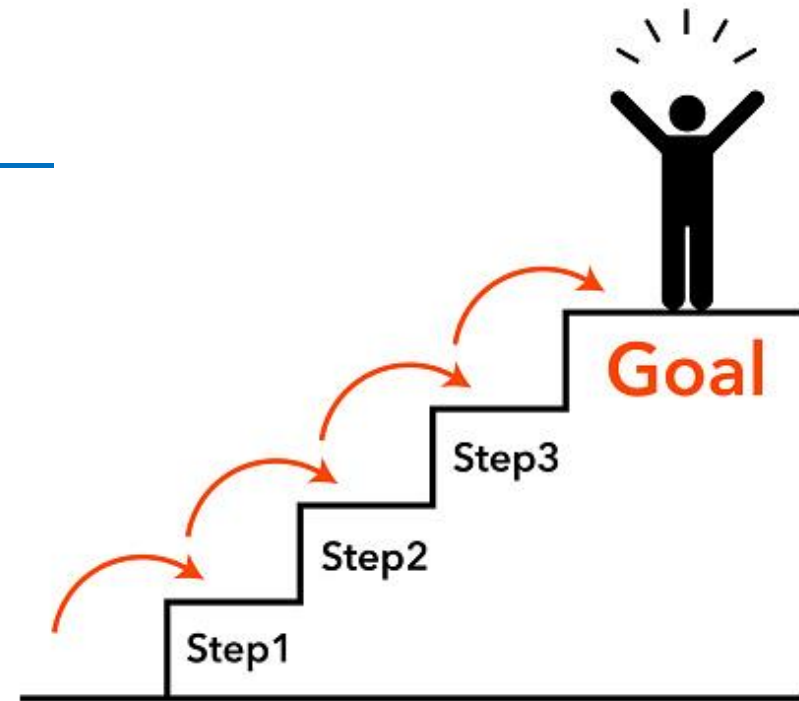
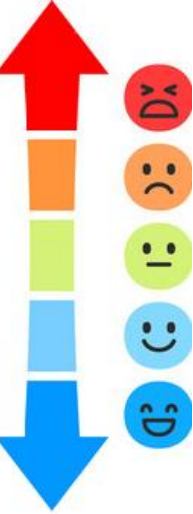
今後、何をどうすれば良いのか悩んでしまう。

自信を持って次の段階の訓練（治療）を、
提供することが出来ない。



難しい

簡単



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

段階付けをする為には、

どのように臨床を進めていくか、
臨床展開の知識も大切です。

（クリニカルリーズニング）

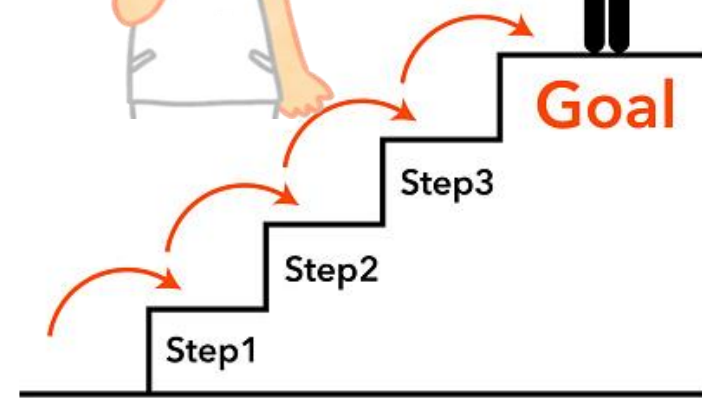
学生や新人はどうしても

知識や経験が足りません。

結果として、

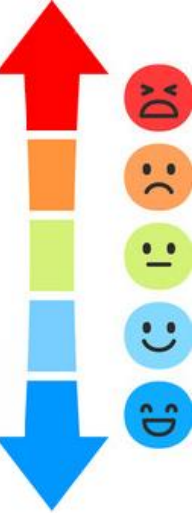
治療に繋がる動作分析（評価）が

出来ない状態になりやすいです。



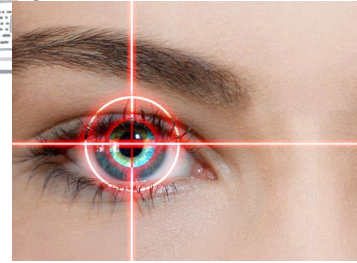
難しい

簡単



治療に繋がる動作分析（評価）が出来ない理由

- ① **正常動作**の知識が無いから。
- ② **記述に偏った**、動作分析を学んできたから。
- ③ **動作分析**をする知識（視点）が無いから。
- ④ **ハンドリング技術**が無いから。
- ⑤ **段階付け**をする知識が無いから。



これらの問題を解決する為には、どうすれば良いと思いますか？ それは . . .

MediArt



メディアートで学ぶと解決できます！



まとめ：治療に繋げる為に必要なポイント

- 1、**正常動作**（動作の基準：解剖学、運動学なども）
- 2、**6つの視点**（ベテランの動作分析の視点：運動の6要素）
- 3、**6つのみる**（臨床展開の仕方、具体的な身体機能評価の仕方）
- 4、**運動発達の段階**（段階付けの仕方、*ADLを構成する基本動作）
- 5、**ハンドリング技術**（評価・治療の技術・**実技**）
- 6、**その他、応用的な内容**（細かい評価や、治療の知識や技術）

実際の臨床で**結果を出す**には、
これらの内容が**知識**として**分かっている**、
実技（技術を習得）していると、
治療に繋げられる可能性が**広がる！**

